ぽっぽニュース

ご報告
フレッシュな力にご期待ください

研修医／澤優太・関裕太

新スタッフ集合

今年も４月１日より初期研修医２名、看護師１９名、薬剤師１名、放射線技師名、理学療法士１名、計２３名の新スタッフが入職し、それぞれの職域で奮闘を始めています。地域医療を支える新たな力として、ともにさらなる成長を目指してまいりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

お知らせ

次の講演会、研修会を予定しております。ぜひご参加くださいませ。

第35回 あべの橋消化器病フォーラム

日　　時　2019年７月20日(土)　16時～
場　　所　都シティ 大阪天王寺(旧天王寺都ホテル)
　　高取の間
特別講演　京都府立医科大学大学院医学研究科
　　消化器内科学　教授　伊藤義人先生
　　「C型慢性肝炎の制圧と残された臨床的課題」

第46回病診連携による生涯教育研修会

日　　時　2019年９月14日(土)　14時～
場　　所　都シティ 大阪天王寺（旧天王寺都ホテル）
　　吉野の間(東)

※プログラムの完成次第あらためてご案内いたします。

“私達は人間性を尊重し、謙虚で誠実な医療を提供します”

【基本方針】
安全で良質な医療を実践し、信頼される病院を目指します。
多機能型急性期病院としてチーム医療を推進し、継続的な医療を提供します。
地域に根ざした病院としての役割を認識し、住民の皆さんの健康増進に努めます。
地域医療機関との連携を重視し、きめ細かな医療に努めます。
専門性を追求し、医療レベルの向上と人材の育成に努めます。

大阪鉄道病院
Osaka General Hospital of West Japan Railway Company
〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町１丁目 2-22
TEL.06-6628-2221 FAX.06-6628-4707
ホームページ http://www.jrosakahosp.jp

受付時間／午前８時30分～午前11時00分
診療開始／午前９時00分～
休診日／土日祝・年末年始（12月30日～１月３日）

201906

大阪鉄道病院
Osaka General Hospital of West Japan Railway Company

地域連携
ぽっぽ
よりよい医療の始発駅

Vol.11
2019 June

診療科 UPDATE
眼科
ドクター・インタビュー
部長　細畠 淳

診療科 UPDATE
耳鼻咽喉科
ドクター・インタビュー
部長　岡田 博文

診療科 UPDATE
皮膚科
ドクター・インタビュー
医長　國本 奈津子

専門領域を究めるリソースナースたち
ストーマ外来　米田 愛

登録医紹介／川崎耳鼻咽喉科

新任医師のご紹介

ぽっぽニュース

「診療科 UPDATE」

眼 科

ドクターインタビュー

白内障、眼瞼下垂手術、
網膜硝子体の
外来治療を柱に
３人体制で幅広い
疾患に対応しています。

部長

細畠 淳

的確な診断に基づき、安定した治療体制を確立。なかでも白内障の入院手術のニーズが急増中。

細畠 淳（ほそはた じゅん）

大阪府出身。1993年大阪大学医学部卒業後、阪大眼科入局、聖隷浜松病院、近畿中央病院（伊丹市）、UCLAジュールスタイン眼研究所を経て、99年から阪大病院眼科で斜視・神経眼科外来担当。2007年1月より大阪鉄道病院眼科勤務。08年より現職。日本眼科学会専門医。

プロフィール＋α

学生時代からずっと水泳をやっています。今では週に 3 回ほど軽く泳ぐ程度ですが、体力の維持増進のためにも筋トレと合わせて続けていきたいですね。

白内障、眼瞼下垂の手術に熟達

当科では白内障、緑内障、糖尿病性網膜症など頻度の高い疾患を中心に幅広く診察・治療に取り組んでいます。なかでも白内障と眼瞼下垂の手術には力を入れており、私と川口医長で対応しています。白内障に関しては、総合病院のメリットを活かした入院による両眼手術のニーズが増えています。一度の入院で一気にできるのは、ご高齢の患者さんにとっても負担が少ないので、今後も注力していきたいところです。もちろん、従来通り片眼ごとの日帰り手術・入院手術も選択肢としてご都合やご希望に沿って対応してまいります。

眼瞼痙攣の診断と治療

私自身は留学前後の 10 年間、阪大病院眼科で斜視・神経眼科外来を担当していました。専門の医師が数少ない分野ですので、現在も周辺の先生方からのご紹介を受けることがあります。

関連分野では、眼瞼痙攣の患者さんもコンスタントに診ています。ボトックス注射が適応になりますが、ご高齢で眼瞼下垂を併発されている患者さんも少なくないので、手術の適応も含めて総合的な判断が必要です。症状を見極め、最大限に効果の発揮できる方法を提案しています。

役割をふまえて確実な診療を

周辺に病院も多い地域柄、当科はあくまでも地域に根ざした総合病院の眼科としての役割を丁寧に果たしていきたいと考えています。マイナーな疾患や重症なものについては速やかに高次医療機関に紹介し、安全確実な治療を実践しています。

診療にあたっては、ご高齢者も多いことからどなたにも内容をよく理解していただけるよう、やさしくゆっくり説明することを心がけています。白内障をはじめ、はっきりと改善して患者さんに喜んでいただけることがやりがいに直結する診療科ですので、日々楽しく臨床させていただいております。

医長

川口 紀子

当院での手術治療、外来治療

白内障と眼瞼下垂の手術を数多く手がけています。白内障に関しては、入院による両眼同日手術は総合病院としてのメリットを享受いただけるもので、ご好評いただいています。また、眼瞼下垂も、世間での認知度の高まりとともにご希望される方が増えてきました。当院では、日帰りで行っております。ただ、あくまでも眼科のスタンスから、お困りの患者さんへの治療としての手術であることを患者さんにご理解いただいた上でご紹介いただけると幸いです。

このほか、外来治療として加齢黄斑変性症や網膜静脈閉塞症、糖尿病黄斑浮腫などの網膜硝子体疾患への抗 VEGF 療法をはじめとした薬物療法やレーザー治療との併用など数多く手がけています。これらの治療は、手術が第一選択でなくなって時が経った現在では注入する薬の選択肢も増え、有効性と安全性も高まっています。少しでも気になる症状が出ましたらご相談ください。

当科では患者さんのニーズに合わせて幅広く迅速な治療対応を心がけています。地域の先生方とのより円滑な診療提携を目指し、日々精進してまいります。

川口 紀子（かわぐち のりこ）

大阪府出身。1994年東京女子医科大学を卒業、麻酔科を経て大阪大学医学部眼科学教室へ。大阪回生病院、大阪医療センター、明和病院を経て2012年より現職。日本眼科学会専門医、麻酔科標榜医、抗加齢医学会専門医。

プロフィール＋α

大学時代はスキー部で、今でも年に一度は小学生の娘を連れて家族でスキーに行くのが楽しみです。近年は家事育児に追われがちですが、アンチエイジングも兼ねてストレッチバレエに週1度は通いたいと思っています。

医員

前野 紗代

多彩な患者さんの診療で鍛えられる毎日

当院に来て1年が経ちました。交通の便が良い病院でさまざまな症例の診療ができ、非常に中身の濃い学びの日々を過ごさせていただいています。

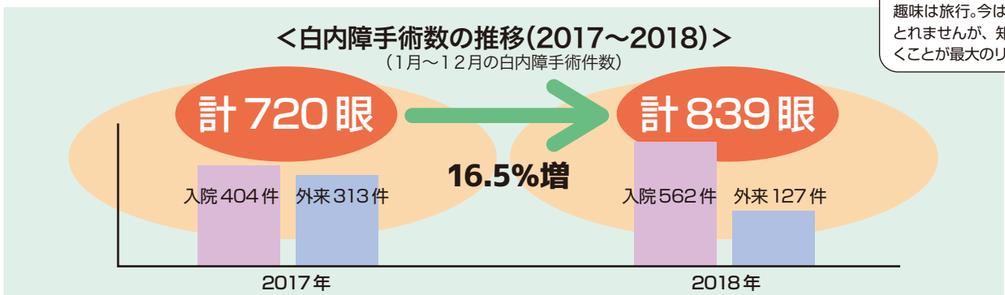
当科の上司はもちろん、他科の先輩医師やスタッフも含め、院内の風通しがよくコミュニケーションがとりやすいので、とても助けられてきました。今後も経験を積んで、眼科全般で臨床力をつけていきたいと思っています。まだまだ至らない点もあると思いますが、丁寧かつ円滑に、患者さんに喜んでもらえる医療を目指してまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。

前野 紗代（まえの さよ）

大阪府出身。2015年京都府立医科大学卒業後、国立病院機構大阪医療センターでの研修医を経て大阪大学医学部眼科学教室へ、大阪大学附属病院勤務ののち18年4月より現職。

＋α

趣味は旅行。今はなかなか時間がとれませんが、知らない土地へ行くことが最大のリフレッシュです。



外来の合計件数は減少しましたが、入院1泊2日の両眼手術の増加により、眼数ベースでは100眼以上の増加となりました。

「診療科 UPDATE」

耳鼻咽喉科

ドクターインタビュー

当院耳鼻咽喉科にて30年以上の勤務経験を積む岡田部長が
豊富な実績とネットワークを駆使して診療・治療。

岡田 博文 部長

一番大切なのは患者さんの理解と納得。パターナリズムに陥らない的確な治療を。

集中的な薬剤投与でスムーズに解決

当院医師の中で勤務年数が最も長くなりました。地域の中堅病院として、特に疾患を特化することなく幅広く対応しています。

実感としてあるのは、急性の疾患でも、かなり重症化してから受診される患者さんが多いということです。ご高齢なためもあって、こんなものかと思っておられるうちに悪化してしまい、内服では治療が難しくなってしまわれる方もいらっしゃいます。同様に、急性の神経障害や顔面神経麻痺、突発性難聴といった治療に関しても、早期の薬剤の大量投与が望まれます。そういった場合には、点滴治療でスムーズな回復が可能ですので、先生が診療された段階で速やかにご紹介ください。私どもも迅速に対応いたします。

患者さんにも治療の選択権を

耳鼻咽喉科の診療は、ある程度この症状にはこの治療というパターナリズムがあるため、通常はどうしても医師主導で方針を展開しがちです。しかし私は、選択肢がある場合は可能な限り患者さんにお伝えして、主体性をもって選んでいただけるよう心がけています。このため説明が長くなり、診療時間がオーバーしてしまうというのがネックですが、ご理解とご納得をいただけるよう、誠意を尽くしてまいります。

プロフィール+α

10 代前半はギター少年、その後はサッカー少年で、医大生時代まではピッチを駆けていました。今は観戦専門で、W 杯の時期には視聴のため生活が激変します（笑）。手先の鍛錬のためにギター演奏を再開してみようかと思っているこのごろです。

岡田 博文（おかだ ひろふみ）

1958年鳥取県出身。1982年大阪市立大学医学部卒業後、同大学耳鼻咽喉科学教室入局。同大学臨床研修医、同大学大学院医学研究科を経て、1988年より大阪鉄道病院耳鼻咽喉科医長、2011年より現職。日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医、耳鼻咽喉科専門研修指導医、身体障がい者福祉法第15条指定医、難病指定医。

適材適所の加療を提案

ここ数年の当科の課題としては、常勤耳鼻咽喉科医が私一人となりましたので現在基本的には、鼻・咽喉頭・頚部良性疾患手術のみ行っています。

耳科手術・悪性疾患手術につきましては、近隣の複数の高次医療機関に紹介させていただくこととしております。ただ、その入り口、診断までは幅広く門戸を開き、より的確な加療が必要なところへ速やかにご紹介できる態勢を整えていますので、ご安心ください。もちろんよりよい医療を提供できるよう、マンパワーの回復も図っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

ドクターインタビュー

「診療科 UPDATE」

皮膚科

新スタッフ加入による増員で、さらに受け入れ態勢が充実。
皮膚疾患全般への充実した対応を実現します。

國本 奈津子 医長

丁寧な診療で疾患の原因を究明し患者さんとともに早期回復を目指します。

國本 奈津子（くにもと なつこ）

1997年大阪市立大学医学部卒業後、同大学皮膚科学教室入局。八尾徳洲会総合病院皮膚科を経て 2009年より大阪鉄道病院皮膚科へ。日本皮膚科学会認定専門医。

アレルギーの原因究明を迅速に

ひとくちに皮膚疾患といっても、その内容は多種多様。わかりやすく現れるものもあれば、なかなか顔を出してくれないもの、原因がわかりにくいものもあります。罹患する年代もタイプも幅広く、さまざまな患者さんを診られることが、皮膚科を志願した理由のひとつでした。

以来専門医としてキャリアを積んでいくなかで、不調の原因はどこにあるか、できるだけ迅速に解明することが重要な役割のひとつと思って努力してまいりました。現在、アレルギー性の皮膚疾患や薬疹に関しては、パッチテストやスクラッチテストなどを行い、原因を追究していきます。

金属アレルギーのパッチテスト試薬も充実しています。

プロフィール+α

二児の母でもあるので、プライベートでは家族で過ごす時間を大切にしています。日常のなかでの息抜きは、読書と園芸。花を育てるのは楽しく、癒されますね。

疾患の奥に潜むもの

また、ご本人からしっかり経過や生活環境について伺い、発症や悪化の引き金となったものを調べることも重要です。たとえばアトピー性皮膚炎なら、ダニやホコリなどの悪化因子を突き止め、生活指導を行って、コントロールがよくなるように努めています。やはり皮膚疾患の多くは、生活環境と表裏一体をなすもの。患者さんのお話を丁寧に聞くことはもちろん、こちらからもしっかりとご説明して病気についてわかっていただいた上で、患者さんにも生活環境を見直していただくとともに、内服や外用薬で治癒に導くことを基本としています。

受け入れ態勢も万全に

このほか、もちろん総合病院という役割柄、他科からの検査や診察依頼にも対応しています。これまで長く常勤ひとりで、なかなか余裕が持てなかったのですが、この春より念願の２人体制となりました。登録医の先生方のご要望にも、より速やかにお応えできるかと思います。さらに守備範囲を広げて皮膚科としての存在感を示していきたいと思っておりますので、どうぞご期待ください。

＜紫外線照射装置ナローバンドUVB＞
短時間の照射で身体への負担を低減した治療が可能です。
対象疾患／尋常性乾癬、尋常性白斑、悪性リンパ腫　他

Expert！ 専門領域を究めるリソースナースたち

今回から数回にわたり、専門外来で活躍する看護師をご紹介いたします。

ストーマ保有者をフォローしセルフケアの不安を解消。

ストーマ外来　**米田 愛**

ストーマ外来では、ストーマ保有者の生涯にわたる生活の質を支えることを目指した専門的ケアを提供しています。ストーマ保有者は退院してからが本当のストーマリハビリテーションの始まりです。特に高齢のストーマ保有者は、加齢に起因する身体能力や認知力の問題によりセルフケア能力が低下します。訪問看護師やご家族とも連携し、退院前のカンファレンスでケア方法を伝達しますが、定期的にストーマ外来を受診いただくことで異常の早期発見だけでなく、訪問看護師やケアマネージャーの相談にも応じることが可能です。他院で手術を受けられたストーマ保有者やストーマ保有歴が長く通院歴がない方も、医師の指示のもと支援いたしますので、ご希望の患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。

＜ストーマ外来の役割＞

経過	ストーマ造設決定	入院・手術	退院時期	退院後 1～3か月	ストーマ増設後 1年	加齢に伴う変化の時期
ストーマ保有者のニーズ	＜ストーマに対する不安＞ ＜術後の生活に対する不安＞	＜自宅での生活に対する不安＞ ＜ストーマケアに対する不安＞		＜日常生活への不安＞ 「何を食べたらいいか」「お風呂には入れるのか」 ＜ストーマケアへの不安＞ 「排泄物が漏れるのではないか」「皮膚がかぶれるのではないか」「装具が外れるのではないか」「臭うのではないか」	＜社会復帰への不安＞ ・外出　・就労関連 ＜社会復帰の実現＞ ・セルフケアの習慣化 ・「ストーマケアが自己流になっていないか」 ＜身体的な変化への対応＞ ・社会的環境変化への対応（定年退職など）	＜セルフケア不能に対する不安＞ ・寝たきり　・認知能低下 ＜独居、高齢に対する不安＞ 経済的な問題
ストーマ外来の役割	＜ストーマサイト マーキング＞		＜初回ストーマ外来受信＞ ・セルフケア評価、指導　・合併症の有無観察 ＜身体障害者手帳取得確認＞ ・等級の確認　・装具受給／購入の確認	＜ストーマ外来定期受信＞ ・ストーマおよび局所の観察 ・異常の早期発見　・セルフケア指導	＜ストーマリハビリテーション評価＞ ・セルフケア方法　・局所管理 ・晩期合併症の有無　・装具の見直し ・製品情報の提供	＜ストーマ外来と地域連携＞ ・ストーマセルフケア能力の評価 ・身体能力／認知能の評価 ・在宅で受けられる医療／介護サービスの導入

・『ストーマリハビリテーション 基礎と実際』編者：ストーマリハビリテーション講習会実行委員会（金原出版株式会社）より抜粋・再編集

登録医紹介

川﨑耳鼻咽喉科

専門分野：耳鼻咽喉科
標　榜　科：耳鼻咽喉科
住　　所：〒545-0014　大阪市阿倍野区西田辺町2-9-5
電話番号：06-6691-1458
https://kawasaki-ent.jp
アクセス：地下鉄御堂筋線「西田辺」徒歩７分、JR阪和線「鶴ヶ丘」徒歩５分

院長 川﨑 薫 先生

趣味は多彩です！ ●フィールドワーク ●アマチュア無線（100ワットの出力で運用中） ●標的競技 ●合氣道等々。 詳しくは当院HP、院長コラムをご覧ください。

――御院についてお聞かせください。

昭和59年関西医科大学卒業同年耳鼻咽喉科入局、大学院での研究、大学および関連病院にて臨床の研鑽後、平成５年11月に当地に耳鼻咽喉科を開院しました。元々母親が耳鼻咽喉を開業しておりましたが、私が４回生の時亡くなりましたので、再開した形です。昨年、25周年を迎えることができました。当初は若先生と呼ばれていましたが、いつの間にか還暦（昭和35年生）間近になり、今では私より年上の患者さん方も少なくなり年齢を感じるようになってきました。

――日々の診療ではどんなことを心がけておられますか。

耳鼻咽喉科的なことはもちろんですが、年齢性別を問わずさまざまな患者さんの意見、訴えを聞いて対応をするようにしています。ナンバーワンよりオンリーワンを目指したいと考えています。全てのことが当院にてできるわけではありませんので、迅速な判断のもとで鉄道病院を始め近隣病院に紹介させていただきます。

――JR大阪鉄道病院の印象を教えてください。

交通の便の良さはもちろんですが、仕事師集団で小回りが利き、設備も充実している、まさに最新鋭の護衛艦のようです。私自身も 2011 年 5 月に鉄道病院にて入院手術の経験をしました。術後のフォローアップは続けていますが、日々普通に診察ができることに幸せを感じています。これも鉄道病院のおかげと感謝しています。

医療体制のさらなる充実を担うマンパワー。新任医師のご紹介

2019年４月より11名の医師が新たに加わりました。よろしくお願い申し上げます。

＜呼吸器内科＞

医長 **西田 浩平**（にしだ こうへい）

専門分野　呼吸器全般
資格　日本内科学会認定内科医・大阪府難病指定医・日本結核病学会結核抗酸菌症認定医・日本呼吸器学会専門医・日本がん治療認定医機構がん治療認定医

患者さんを第一にした丁寧な診療を心がけながら、地域の医療に貢献できるように取り組んでまいりたいと考えております。

＜循環器内科＞

医長 **藤阪 智弘**（ふじさか ともひろ）

専門分野　循環器一般
資格　日本内科学会認定内科医・日本循環器学会認定循環器専門医・日本内科学会総合内科専門医

これまでカテーテルによる冠疾患の治療や、健診における疾病の早期発見等の一次予防に携わってきました。今後は、地域の医療に貢献できるようがんばりたいと思います。

＜循環器内科＞

医員 **藤原 義大**（ふじわら よしひろ）

専門分野　循環器一般

まだまだ若輩者ですが、よりよい診療を患者さんに提供できるように尽力してまいります。

＜神経内科＞

医長 **竹内 潤**（たけうち じゅん）

専門分野　神経内科全般
資格　日本内科学会認定内科医・日本神経学会専門医・難病指定医

神経難病、脳卒中、てんかん、頭痛など、多岐にわたり神経疾患全般を担当いたします。患者さんの訴えをよく聞き、患者さんの立場に立った丁寧な診療を心がけてまいります。

＜皮膚科＞

医員 **森木 安紗子**（もりき あさこ）

専門分野　皮膚科全般

患者さんに寄り添った診療を心がけていきたいです。少しでも日々の助けになるよう精一杯尽力してまいります。

＜放射線科＞

医員 **横田 達哉**（よこた たつや）

専門分野　画像診断

画像診断、IVRを通して患者さんや先生方のお役に立てるようがんばっていこうと思います。まだまだ経験が浅いですが、精進してまいります。

＜整形外科＞

医員 **橋村 剛**（はしむら つよし）

専門分野　整形外科一般

若輩者ですが、患者さんのお力になれるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

＜整形外科＞

医員 **伊東 祐紀**（いとう ゆうき）

専門分野　整形外科一般

「地域」に、「病院」に、貢献できるように精一杯がんばってまいります。よろしくお願いいたします。

＜リハビリ科＞

医員 **福井 大修**（ふくい ひろなお）

専門分野　リハビリテーション全般

多岐にわたる患者さんの機能回復・障害の克服・活動を育むことができるよう、微力ながら尽力してまいります。

＜緩和ケア内科＞

医師 **岡本 正幸**（おかもと まさゆき）

専門分野　緩和医療、消化器全般

今までの臨床経験を活かしつつ、患者さんに寄り添った医療を提供したいと考えています。若輩者ではございますが、よろしくお願いします。

＜泌尿器科＞

医員 **畠中 聡**（はたなか そう）

専門分野　泌尿器科一般

排尿困難や頻尿といった生活の質に関する疾患や、腎癌・膀胱癌・前立腺癌などの泌尿器癌、また、泌尿器感染症などを中心に診療し、患者さんのお力になれるよう努めてまいります。